

医王寺・薬師堂

歴史

560年前の寛正2(1461)年建立。
建立者：経旨退上人
手賀沼のほとりにあり荒廃した天台寺院跡と薬師堂を、古くから薬師霊応の地とされていた置野谷に移し、浄土宗の寺として再興したのが始まり。



ご本尊：薬師如来坐像

本像を修理した際、胎内から「長祿二戊寅(1458)十一月吉日……大仏師春慶」という墨書の銘文を発見。(春慶)は、鎌倉仏師の巨匠として知られる運慶の孫弟子に当たり、数々の秀作を生んだ名工。本像は、非公認で「薬師如来本願功德経」に説かれる「十二大願」になぞられ、十二年ごとの寅年に開くことが出来る。



この医王寺は、昔は手賀西小の教室として使われていた。当時その教員だった石川倉次先生は、薬師様に目や耳の治癒を願う人々を見て、近字を作った偉大な人である。石川倉次先生は近所の家に「子供さんに教科書を買ってください」と字問をさせるように説得してまわったそうです。



耳が悪い人が訪れ、耳を直してくれるように願い、キリを授かる。耳がよくなられたお礼としてキリを二本奉納する。

人と自然の共生

手賀沼側の景観が素晴らしく、かつては文豪の別荘地が建っていたほどである。野鳥の生息できる環境が現れていて、その鳴き声や聞こえるのも趣がある。また、住んでいる人が温かい、その良さをいろんな人知ってもらいたい。

大山農園



手賀に住んで良かったこと

- ・穏やかな場所なので、落ち着いて生活できる。
- ・昔の行事が残っている。
- ・やりたいやり方で農業ができる。野菜にたくさん手をかけられるので、美味しい野菜を作ることができる。

どんなものを育てているか

玉ねぎが5月下旬、さそりが5月下旬、じゃがいもが6月中旬、枝豆が6月下旬～7月いっぱい、ブルーベリーが下旬、トウモロコシが7月一杯と8月上旬。

なぜだろう？

～体験農業に来る人の目的～
都会にはない自然を求めてくる人が特に多い。



Point

～体験農業でやっていること～

- ・トウモロコシやねぎ、ブロッコリーなどの収穫体験を主に行っている。
- ・参加した後も、自分でとった野菜を持ち帰って皮をむいたり、とった野菜を使って料理をしたりして楽しむことができる。



体験農業の魅力 深めてみよう

自分で直接野菜を収穫することができる。なかなか経験することのできない貴重な体験をすることができる。とっすく食べることができるので、新鮮な野菜を食べることができる。自分でとった野菜だからさらにおいしい。

令和2年度柏市立手賀中学校 第1学年作成

農菜士

体験農業

各収穫体験に合わせて、名前の由来や、生育過程、収穫の方法、保存の方法、料理の方法など説明してから収穫してもらい、その後試食をして自由解散になります。

農菜士で作っている野菜！

農菜士では、さつまいも、落花生(おまさり)です。協力農家には、タマネギ・ソラマメ・ブルーベリー・ジャガイモ・エダマメ・トウモロコシ(白と黄色の2種類)・ラッカセイ・サトイモ・ダイコンです。

一番力を入れている野菜

エダマメ・トウモロコシ・ラッカセイです。これらの野菜は、採りたての味が晩で落ちます。なので、体験農業に参加するお客さんには、今日中に料理してくれるよう、お願ひしています。



体験作業の魅力

- ・野菜の生育状況が、現地にてわかる。
- ・採りたての野菜の味。
- ・野菜の話が聞ける。

Point



わしのや農園

わしのや農園とは？

平成24年に生産者と消費者の農業交流拠点づくりが目的の「わしのや遊休農地活用事業組合」が地区農業者7名により設立され平成25年4月21日に「わしのや農園」として農業者サポート付き農業体験が開始しました。令和2年度は、31組、約100名の参加者があります。



驚野谷地区には農業している時の休憩所もある！



Point

野菜を育てる所からできる所はとーっても珍しい！

駐車場もとてもきれい！

Q、農業体験では、何をやってますか？
A、種まきや撒の使い方などから、今年は21品目を作っている。毎年11月に収穫祭を行っている。月に二回、日曜日の講習のほかは、自分で来て手入れや収穫をする。

月2回講習があってわかりやすい。

わしのや農園質問

Q、農業を始めたきっかけは何ですか？
A、10人に3~4人が60~70代のため畑の手入れができないため誰も使わなくなった土地を利用し、自分の後継が梨農家をやめてしまったため農業を始めることに！

Q、体験農業を始めたきっかけは？

A、東京都練区に体験農業がありそれを見て柏でも7人の農家が賛同し、組合を立ち上げることに！



手賀ばやし

歴史について！

場所は、茨城県稲敷市。大杉神社は、疫病を追い払う。宝暦7年(西暦1757年)に、茨城県から手賀へ分身の神様まつっている！

お面の意味は？

黒のお面=こくしきょう
白のお面=おきなきつね=農作の神様

手賀ばやしの歴史は何ですか？

昔の歴史を知ることができる！
地域の人とつながることができる！



ほかの祭りとは違うこと
ほかの祭りに比べて、御神体が飾られていない祭りもある。

手賀ばやしの名の由来は？

・手賀のあなば様
・神様をまつる行事

Point

手賀ばやしの特徴は何と書いても御神体があること!!!

何歳くらいの年齢の方が踊っているのですか？

20~30歳の人が踊っている

大変だったこと

- ・祭り当日の天気が悪かった事。
- ・来る人の日程が合わない。
- ・人数が合わない事。

お世話になりました



どういう目的でお祭りがあるの？

1月は、豊盛儀の意味がある。各地区の周りにお札を置き、悪いものが入ってこないようにする。
7月は、五穀豊穡(今年も豊作できるように)と願って踊りを舞う。

どのくらいの方に引き継いで欲しいですか？

何歳でも、何人でも大歓迎！

ほかにもたくさんあるので・・・ぜひ行ってみてください!!!

鹿倉農園

鹿倉さんが大事にしていること

・お客様、第一。
・みんな喜んでくれる野菜を収穫、育てる。
・誰でも自然と楽しく野菜を育てる。



鹿倉農園の収穫体験は、さそ豆、枝豆、大根などがあります！

体験に来る人は？

都心より畑にいるほうが好きな人や、共働きの親をもつ子供を預かる業者。アメリカ人やオーストラリア人、香港の人も来てくれる。新型コロナウイルスが発生する前と変わらず2日で400人。野菜によって来る人数がちがく、枝豆2日で600人。

当日、収穫した大根などがとてもみずみずしい！



体験に来ることが多い年齢層

家庭を持った30代~40代

大根を洗浄する機械



ポイント

良い大根と悪い大根の見分け方は、良い大根は毛穴がまっすぐに並んでいる。
悪い大根は毛穴が斜めに並んでいる。

体験農業について

体験農業を始めたのは、8年前。
手賀を活性化するためにどうすればよいか...
どうしたら農業に興味を持たせることができるかということを考えていた。

そして、畑があったため体験農部会に加入し、農作物をとる体験をみんなができるようになり、来てくれる人も増えたため現在もなお続けている。

龍泉院

どんな修行をしたのか

修行は、ご飯を炊く、庭を掃く、掃除など一般的な労働を永平寺で行った。

やっていて嬉しかったこと・辞めたいと思ったこと

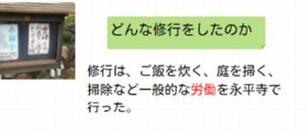
好きなことができるし、自分の時間があるから辞めたいと思ったことはない。

来る人の年齢

若い人~中年~お年寄りまで色々な人が来るから年齢は決まっていないそうです。

この寺院にしかないもの

小倉に昔の人が書いた書類(1500~2000)や掛け軸(100本)などがあるそうです。



毎月何人くらいの人が来るか

今は毎月30~40名
コロナの影響で10~20名

寺院の歴史

龍泉院は720年前に作られた歴史深い建物です。720年の間に1回も火災や災害があったことがない。住職さんが言うには龍は水をつかさどるから！

幸運の寺院

座禅の堂場
個人から団体までたくさんの方が来るそうです。
百観音がある。
観音様が100体まつられています。
上 34体
中 33体
下 33体

寺院の魅力

観音様の堂場
個人から団体までたくさんの方が来るそうです。
百観音がある。
観音様が100体まつられています。
上 34体
中 33体
下 33体

Point

手賀は自然に囲まれているため自然の音が聞こえてきます。
観音様
「心を見る」神様です。

弘誓院

名前の由来

- ・弘誓は、仏教の用語で、人々を救おうという観音様の経典から来ています。
- ・船着き場は、観音様が祭られていることが多い。

手賀の魅力

手賀の一番の魅力...
穏やかな地域であること
そして、人が速かい！

Point

手賀は自然に囲まれているため自然の音が聞こえてきます。
観音様
「心を見る」神様です。

行事

正月が一番忙しく、6つある。
【大晦日】
・除夜の鐘
・誓摩(心の乱れ、願いを叶える、食べ物など仏様を接待する。年に10回ほどやる。)
・お焚き上げ(一年使ったお守りを燃やして清める。)
【東照印施大師】
・20年続く
・200人が参加
・88か所回る

来るときの年齢層

・大体50代以上で、60~80代が1番多い。
・仕事に余裕ができた人が来る人が多い。

覚えておくもの

・弘誓院には観音様が祀られており、本堂に入って真ん中にあります。

Point

住職さんがいつもしていること
・ご本尊様
・お経をあげる
・お寺のことを話す
・行事の準備

弘誓院は、何年ごろに建てられましたか？

808年に建てられました。

寺院の魅力

・落ち着いている

運営している人

・住職
・副住職
・総代(5人)

Point

このお寺にしかないもの
・60年に一度開く。
・次は11、12年後。

